



## 2022年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年4月28日

上場会社名 Genky DrugStores株式会社  
 コード番号 9267 URL <http://www.genkydrugstores.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤永 賢一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務・IR部長 (氏名) 常見 武史

TEL 0776-67-5240

四半期報告書提出予定日 2022年5月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年6月期第3四半期の連結業績(2021年6月21日～2022年3月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第3四半期	113,766		4,193		4,480		3,065	
2021年6月期第3四半期	103,450	20.0	4,646	90.2	4,860	82.3	3,412	98.6

(注) 包括利益 2022年6月期第3四半期 3,041百万円 (%) 2021年6月期第3四半期 3,428百万円 (101.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第3四半期	201.97	201.69
2021年6月期第3四半期	224.86	224.62

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。このため、当該基準等適用前の実績値に対する増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第3四半期	94,649	34,873	36.8
2021年6月期	90,795	32,166	35.4

(参考) 自己資本 2022年6月期第3四半期 34,834百万円 2021年6月期 32,144百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期		12.50		12.50	25.00
2022年6月期		12.50			
2022年6月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年6月21日～2022年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000		6,500		6,800		4,720		310.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該基準に基づいた予想となっております。このため、当該基準等適用前の実績値に対する増減率は記載しておりません。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年6月期3Q	15,482,884 株	2021年6月期	15,477,484 株
期末自己株式数	2022年6月期3Q	300,380 株	2021年6月期	300,324 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年6月期3Q	15,178,546 株	2021年6月期3Q	15,177,239 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年6月21日から2022年3月20日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、ワクチン接種の効果への期待はあるものの、未だに収束の見通しは立たず、景気の先行きは依然として不透明な状態で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは「近所で生活費が節約できるお店」をコンセプトに、地域シェアを高めるためドミナントエリア構築に邁進いたしました。また、お客様の節約志向に応えるため青果や精肉などの生鮮食品の品揃えを強化するとともに、生活必需品のディスカウントに尽力いたしました。

当第3四半期連結累計期間における新規出店につきましては、R店を愛知県に10店舗、滋賀県に4店舗、福井県に3店舗、石川県に2店舗、岐阜県に1店舗出店いたしました。また、大型店を16店舗、R店へ改装いたしました。これにより、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、R店291店舗、大型店72店舗の計363店舗となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,137億66百万円（前年同四半期は1,034億50百万円）となりました。利益に関しましては、経常利益は44億80百万円（前年同四半期は48億60百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億65百万円（前年同四半期は34億12百万円）となりました。

次に、当第3四半期連結累計期間における業態別の売上高を見ますと、「R店」769億53百万円、「大型店」366億82百万円、「その他」1億30百万円となりました。また、商品別の内訳では、「食品」752億18百万円、「雑貨」143億95百万円、「化粧品」118億48百万円、「医薬品」107億18百万円、「その他」15億85百万円となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。このため、当該基準等適用前の実績値に対する増減率は記載しておりません。

詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ38億53百万円増加し、946億49百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が51億25百万円増加し、現金及び預金が19億82百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億46百万円増加し、597億75百万円となりました。その主な要因は1年内返済予定の長期借入金が23億80百万円増加し、買掛金が4億86百万円、未払法人税等が6億5百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ27億7百万円増加し、348億73百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,913,261	5,930,864
売掛金	2,601,282	2,685,250
商品	19,318,381	19,839,633
原材料及び貯蔵品	70,843	124,919
その他	2,236,717	2,194,638
流動資産合計	32,140,487	30,775,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,251,993	45,581,186
その他(純額)	8,275,623	12,072,195
有形固定資産合計	52,527,616	57,653,381
無形固定資産	394,116	387,573
投資その他の資産	5,733,235	5,833,091
固定資産合計	58,654,968	63,874,047
資産合計	90,795,455	94,649,352
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,616,117	19,129,556
1年内返済予定の長期借入金	6,816,659	9,196,778
未払法人税等	1,246,614	640,827
契約負債	—	476,938
賞与引当金	128,005	347,596
ポイント引当金	339,394	—
その他	6,494,977	5,449,248
流動負債合計	34,641,768	35,240,945
固定負債		
長期借入金	21,684,175	22,173,709
資産除去債務	1,957,663	2,064,994
その他	345,348	295,987
固定負債合計	23,987,187	24,534,690
負債合計	58,628,956	59,775,635

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年3月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,008,181
資本剰余金	6,415,819	6,424,001
利益剰余金	25,479,345	28,176,873
自己株式	△789,484	△789,714
株主資本合計	32,105,680	34,819,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,885	14,973
その他の包括利益累計額合計	38,885	14,973
新株予約権	21,933	39,401
純資産合計	32,166,499	34,873,716
負債純資産合計	90,795,455	94,649,352

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年6月21日 至2021年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年6月21日 至2022年3月20日)
売上高	103,450,837	113,766,434
売上原価	81,404,146	91,144,687
売上総利益	22,046,690	22,621,747
販売費及び一般管理費	17,399,998	18,428,121
営業利益	4,646,692	4,193,625
営業外収益		
受取利息	7,062	6,659
受取賃貸料	208,438	222,675
受取手数料	198,914	213,664
その他	54,076	147,114
営業外収益合計	468,492	590,114
営業外費用		
支払利息	36,635	34,630
賃貸費用	132,886	148,913
その他	85,190	119,236
営業外費用合計	254,711	302,781
経常利益	4,860,473	4,480,959
特別利益		
国庫補助金受贈益	111,949	—
特別利益合計	111,949	—
特別損失		
固定資産除却損	56,192	2,959
特別損失合計	56,192	2,959
税金等調整前四半期純利益	4,916,229	4,477,999
法人税、住民税及び事業税	1,472,680	1,513,069
法人税等調整額	30,863	△100,623
法人税等合計	1,503,544	1,412,445
四半期純利益	3,412,684	3,065,553
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,412,684	3,065,553

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年6月21日 至2021年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年6月21日 至2022年3月20日)
四半期純利益	3,412,684	3,065,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,462	△23,912
その他の包括利益合計	15,462	△23,912
四半期包括利益	3,428,147	3,041,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,428,147	3,041,641
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、販売時にポイントが付与するサービスの提供について、従来は販売時に収益を認識するとともに、付与したポイントのうち将来使用されると見込まれる額をポイント引当金として計上し、ポイント引当金繰入額を販売費及び一般管理費として計上していましたが、付与したポイントを履行義務として識別し、収益の計上を繰り延べる方法に変更しております。また、販売委託契約に係る取引については、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,774,804千円減少し、売上原価は125,418千円減少し、販売費及び一般管理費は1,615,469千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ33,917千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は11,441千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「ポイント引当金」及び「その他」の一部は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取り扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨、食品等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。